

## 中小企業景況調査結果(平成26年10~12月期)

中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成26年10~12月期実績と平成27年1~3月期見通しについての調査結果(回答数97社、回答率97%)をまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

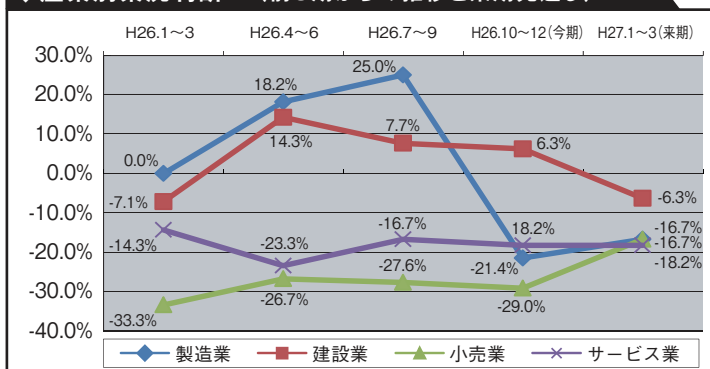
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲16%→▲19%とマイナス幅が拡大し、前期が5期ぶりの悪化であったが、今期も悪化した。消費税増税後の回復が遅れているものと見られる。平成27年1~3月期の見通しについては、小幅ながら回復の見通し。

経営上の問題点については、全業種が依然として需要の停滞を挙げており、今期も解消されていない。また、全業種ともに仕入れ単価もしくは、原材料価格の上昇をあげる企業が多く見られるようになり、新たな経営上の問題点が浮き彫りとなってきた。

### ◆業況DI値(今期の状況)

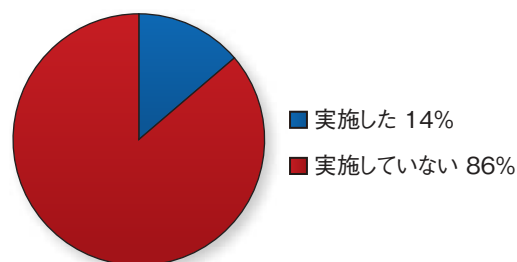
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	▲19%	↘	▲21%	→	▲9%	↘	26%	↗	▲23%	↘	▲3%	↗
製造業	▲21%	↘	▲21%	↘	▲7%	→	50%	↘	▲29%	↘	0%	↗
建設業	6%	↗	25%	↗	▲7%	↗	44%	↗	▲6%	↗	0%	→
小売業	▲29%	↘	▲29%	↗	▲17%	↘	13%	↘	▲35%	↘	▲7%	↘
サービス業	▲18%	↗	▲33%	↘	▲3%	↘	19%	↗	▲12%	↘	▲6%	↗

### ◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

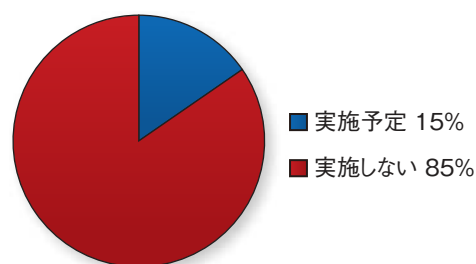


### ◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

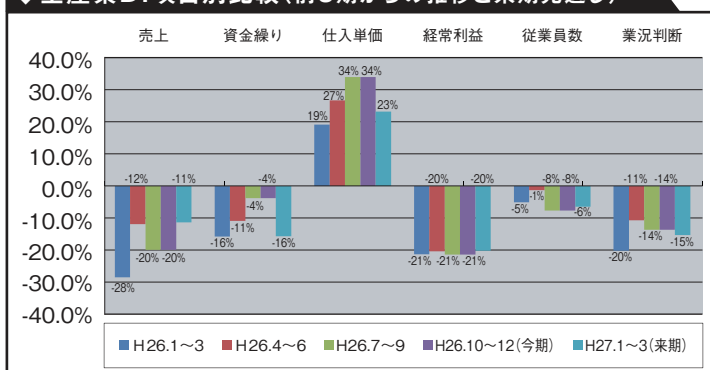
#### 【今期設備投資】



#### 【来期設備投資計画】



### ◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



### ◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	需要の停滞	24.0%	民間需要の停滞	16.1%	需要の停滞	18.5%	消費者ニーズの変化への対応	20.0%
2位	原材料価格の上昇	16.0%	官公需要の停滞	12.9%	消費者ニーズの変化への対応	12.3%	需要の停滞	10.7%
3位	取引条件の悪化	12.0%	材料価格の上昇	9.7%	購買力の他地域への流出	10.8%	材料等仕入単価の上昇	8.0%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。